

生きる力を豊かにたくましく



あいほうぶだより

今夏、おもちゃつりを楽しんで頂いた皆さん、ありがとうございました!

毎年、夏祭の時期には、地域自治会等のお祭の一角をお借りし、『おもちゃつり』を出店させていただいています。おもちゃの入った袋に紐が付いていて、その紐を竿で釣るというシンプルな遊びではありますが、小さいお子さんから中高生まで幅広く人気で毎年たくさんの方が楽しんでくださっています。

この「おもちゃつり」は、あいほうぶ吹田の利用者の仕事として取り組み、売り上げは利用者の工賃となっています。松屋町筋やインターネットでおもちゃ



を仕入れて、袋におもちゃを入れて、紐を付け、ホッチキスで閉じるという工程を利用者の皆さん一人ひとりが

主体的に関われるように各々の自助具等を作成し

支援しています。コロナ禍の中で、地域自治会の祭り開催もできない3年間でしたが、今年はお声をかけていただき、精一杯利用者の皆さんと一緒に準備をさせていただきました。今年も下



記の自治会のお祭に参加させていただき、多くの方に楽しんでいただくことができました。ご支援いただきありがとうございました。

- 藤白台地区連合自治会様
- 古江台連合自治協議会様
- 五月ヶ丘地区連合自治会様
- 西山田自治団体協議会様



平和の取り組み



8月10日「平和の取り組み」として語り部の小山ヤエコさんに来ていただき、神戸の芦屋市で体験した太平洋戦争の終戦前後の話をさせていただきました。当時、小学1年生だったその記憶は聞いている私たちも辛く、改めて戦争の恐ろしさを知ることができました。最後に「今は戦争を語る語り部の方が少なくなっている。後どれだけの方に語り継

いでいけるのか。だから、この時、一人でも多くの方に聞いていただき次の世代へ繋いでいってほしい」とおっしゃっていたことが大変印象的でした。今も世界で様々な地域で戦争、地域紛争が起きていますが、戦争の悲惨さを伝え、みんなが平和な世の中を願い、皆でつくっていく事が大切です。



世界理学療法学会 2023での研究発表

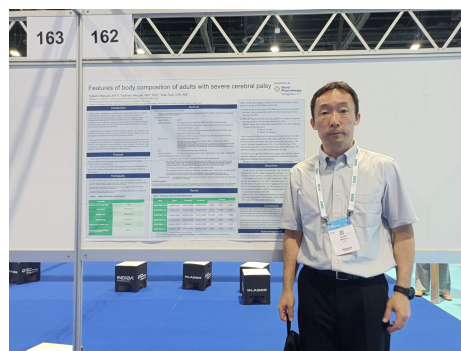
2023年6月2日から4日にUAEのドバイで開催された世界理学療法学会(主催:世界理学療法連盟)に参加し、当センターでの取り組み成果をまとめ、ポスター発表を行いました。内容としては、重度脳性麻痺の方の身体組成(筋肉量や水分量)の特徴と自然経過について調査したものです。そもそも筋肉量が少なく、浮腫にある状態である上に、少しずつ悪化している状態がわかったという内容です。理学療法士としては、具体的な運動方法の検討が必要であると考えています。

学会期間中には、日本では馴染みのない「水中理学療法(Aquatic physiotherapy)」のネットワークグループの会合に参加して、あいほうぷ吹田で私が担当している水泳教室や、

プールでの取り組みについて紹介し、各国代表者と国際的なネットワークを作る機会を得ました。

重度脳性麻痺の身体活動について研究する理学療法士はあまり見られないため、重度脳性麻痺の方の社会参加や身体活動を支援する当センターの存在意義を発揮することが引き続き望まれていると感じました。

あいほうぷ吹田 理学療法士 松田忠司



4年ぶり開催!

第21回 あいほうぷ祭

祭 **とき** 9月16日(土)
16:00~19:00 クライマックスは恒例の花火!

ところ あいほうぷ吹田

- ステージ 風雅(開幕太鼓)・ガンバキッズ・藤白台保育園・CCJカボエイラ・星の会(司会MCゆっきー)
- キッチンカー ソレイユ(クレープ、ドリンク、ソフト)・Jinbey(たこ焼き、たこせん、かき氷)
- ゲームコーナー 的あて・スーパーボールすくい・おもちゃつり・スマートボール
- 出店 カレー・唐揚げ・フランクフルト・ポテト・グーチョキパン屋さん
- ポッチャ体験 ■バザー ■昔おもちゃ作り ■喫茶コーナー

吹田市立障害者支援交流センター
あいほうぷ吹田
☎ 06-6816-6895 吹田市千里万博公園12-27

4年ぶり! あいほうぷ祭開催!

久しぶりのあいほうぷ祭が開催されます。ステージをはじめ、恒例の花火やゲームコーナーなど企画も盛りだくさんです。

利用者も職員も地域の皆さんに遊びにきていただけることを楽しみにしております。一緒に楽しい夏の時間を過ごしましょう。

あいほうぷ祭 ボランティア募集

多くの方からボランティアの問い合わせをいただきありがとうございます。お祭りを盛り上げて頂ける方を引き続き、募集しております。お祭りの準備やお店当番などをお願いいたします。

14時~19時半(時間応相談)
夕食はこちらでご用意いたします。

☎ 06-6816-6895 担当 安達

小高さんと一緒に考えよう



今回は図書館で借りた「マークで学ぶSDGs」という本についてのお話です。街で見つける事のできるマークに込められるメッセージとSDGsのつながりを紹介します。



☑のマークは誰もになじみのあるマークですが、国際リハビリテーション協会によって作られた世界共通のマークだそうです。

国際リハビリテーション協会は、1922年に作られた団体で、1969年にそこでこの「国際シンボルマーク」がつけられました。それまでは、それぞれの国でつくられた障がい者のためのマークを使っ

ていましたが、このマークがつくられてからは、全世界でこのマークが使われるようになりました。つまり、他の国に行っても、誰もがこのマークを見て、安心して公共設備等を利用できます。

たとえば、このマークのある駐車スペースは障がいのある人が優先的に車を停める事ができたり、このマークのあるトイレは車椅子等が乗り入れやすいように、広がっていきたりします。

この世界共通のマークはSDGsでいうと、目標11の「住み続けられるまちづくりを」目標10の「人や国の不平等をなくそう」につながります。

このようなことを考えると、SDGsを目指す試みが、ずいぶん前からなされてきた事実が私たちの周りにたくさんありそうです。

小高さんはこのマークが世界共通のものだと知り、大変喜ばれていました。SDGsが広がる前から社会にはそれにつながる暖かい取り組みが、色々な方によってなされてきました。その様な取り組みを未来に繋げるためにも、SDGsを大切にしていきたいですね。

秋のあおぞら市開催!!

6月に行い好評だった「あおぞら市」ですが、今回は11/8(水)を予定しています。新しく導入したレジですが、もっとかわいいレシートのほうが喜ばれたのでは、レジの上に看板を付けた方が判りやすかった、またテントの向きや場所をもっと良くしたいなどと、お客様をおもてなしする準備を会議で話し合っています。

日々、利用者が頑張って、作っている商品の作品展でもあり、商品を見るだけでも、その頑


張りを感じていただけたと思います。

今回新しく利用者と考えたチラシを配る予定ですので、よろしければ「チラシ見たよ」等と話しかけてくだされば幸いです。みんなで作った製品をたくさんの方に見てもらいたいです。どうぞお気軽にお越しください。



かわいいぬりえを見て下さい

(万博れんげ保育園の皆さんの作品)



恒例の万博れんげ保育園の皆さんの塗り絵を1Fロビーに飾っています。見に来て下さいね。



きおり織り実演します



前回も大盛況でした

プール・介助浴室を開放しています

土曜日、日曜日にあいほう吹田の温水プールと介助浴室を開放しています。プールや入浴は、リハビリにも効果的です。ぜひご利用ください。

利用できる方 ・吹田市内にお住まいの障がい者手帳をお持ちの18歳以上の方とその介助者。プールは18歳未満の方も利用できますが、18歳以上の介助者の同伴が必要です。

利用時間 ・10時から16時まで

注意事項

プール利用について

- ・混雑を避ける為に定員を設けています。
- ・スイミングキャップが必要です。
- ・受付で障がい者手帳を提示し、手続きをしてください。
- ・採暖室と更衣室(シャワー室を含む)の利用は原則1組に限ります。観覧者はマスクをして、廊下からご覧ください。

介助浴室利用について

- ・介助浴室の利用は、予約制で、原則前日の17時までです。当日午前10時までのご予約で13時以降のご利用ができます。原則1時間に1組。
*ボディソープ、シャンプーはご持参ください。

多目的ホール・会議室が利用できます(18時~22時、土日9時~22時)

障がい者団体あるいはその支援団体、ボランティア団体などの活動の場、交流の場として利用できます。(事前登録が必要)

編集後記

夏が終わりに近づくと、「少年時代」という井上陽水さんの歌を思い出すのは私だけでは無いと思います。

学生時代、遊び呆けていた私にとって、夏が終わる事は、遊びの時間が終わる事を意味しました。特に、お盆を過ぎると、海にクラゲが沢山出てしまい、砂浜では遊びにくくなります。その若い頃の気持ちを引きずって、夏が終わりに近づくと冒頭の歌のように、寂しい気持ちになってしまいます。

しかし、最近は夏の暑さが厳しすぎて、夏が終わる事に「ホッ」としている自分もいます。年齢のせいとか、温暖化のせいとか分かりますが、「遊ぶ事のできる夏の有難さ」が少なくなっているのは私だけでしょうか。

夏を楽しむためにも、温暖化を止める必要性をひしひしと感じた、夏の暑さでした。



吹田市立障害者支援交流センター あいほうぶ吹田

(吹田市指定管理者 社会福祉法人 さつき福祉会)

吹田市千里万博公園12-27

生活介護事業 06-6816-6895 短期入所事業 06-6816-6897

メール i-staff@s5.dion.ne.jp ファックス 06-6816-6898

ホームページ <http://satuki-fuku.sakura.ne.jp/ihope/index.htm>